

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Table with columns for Project Name, Policy, Period, Budget, and Main Content. Includes details for '障害者移動支援事業' and '委託料'.

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

Table mapping objectives (e.g., activity, target, intention, upper purpose) to specific indicators (e.g., number of activities, number of targets, user numbers, utilization time).

(2) 事業費・指標の推移

Table showing financial trends and indicators from 2023 to 2028. Includes categories like '国庫支出金', '事業費計', and '活動指標'.

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Table with 3 rows detailing the project's context, changes in target users/social conditions, and citizen opinions.

(4) 改革改善の取り組み状況

Table with 3 rows detailing reform and improvement efforts, including organizational changes and implementation status.

事務事業名	障害者移動支援事業(障害者自立支援)	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 日常生活、社会生活を営む上で欠かせない、障害者の外出機会を確保することによって、障害者福祉の充実に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 障害者自立支援法に基づく市町村地域生活支援事業の必須事業のため、市が行わなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 公共交通の乏しい本市の地域性を踏まえ、また道路等のバリアフリー化を進めたとしても、一人での外出が困難な事由は、身体・知的・精神の障害ごとに多様であり、専門の介護技術をもつヘルパーや、認可を受けた福祉有償運送事業者による当サービスの実施は、障害の有無に関わらず当たり前の暮らしを保障する上で、将来にわたっても維持・継続が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 福祉有償運送事業者による送迎サービスを車両移送型として創設したことで、一体的な利用が可能となったが、その際初度経費を助成した市社会福祉協議会の福祉有償運送について、運賃が高く、営業時間が平日の日中のみで利用が広がっていない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 障害者の外出の機会を確保する事業のため、廃止・休止すると障害者やその家族等の日常生活が大きく制約される。 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 所定の単価で実施しており困難。また、利用の抑制はサービス低下につながる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H21年度から請求書の事務処理は、臨時職員が対応。H23年度から車両移送型の創設に伴い請求書様式を統一し、事務処理の改善を図ったところであり、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 利用時間が特に多い利用者が数名いるが、事業の継続性に対して理解を求める意味で、H23年度から年間利用時間(公費による負担)に一定の上限を設けた。今後も多くの人に周知され広く利用されるべきである。また、視覚障害者のヘルパー支援型利用について、利用者負担を無料としているが、同行援護の創設から1年以上経過する中で、見直しが必要である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	障害者の移動に関する課題は多様であり、個別の外出ニーズに対して低料金で利用できる本事業は、就労が困難で所得の低い障害者の生活に密着した重要なものである。持続可能な形で必要なサービスを提供できるよう注視しながら、より広く利用されることが望まれる。一方、あくまで介助が必要な障害者へのサービスであり、公共交通や移動弱者全般の問題に比べるものではないことに留意が必要である。課題として、市社会福祉協議会による車両移送型の利用が広がっておらず提供体制として十分に対応されているとはいえないため改善が必要。視覚障害者の利用者負担無料の取り扱いについても、個別給付化された趣旨を踏まえ見直しが必要と考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
①市社会福祉協議会による車両移送型の利便性向上。 ②視覚障害者の利用者負担無料の取扱いの見直し。 ③通勤、大学への通学など新たなニーズへの対応の検討。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	④	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	④																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
①車両移送型のサービス提供時間や運賃は、事業者側が設定するものである。また、採算性のある事業ではないため不用意に介入できない。しかしながら、社会福祉協議会の公共性に鑑み、市として初度経費を助成した経過がある以上、改善を求めていく必要がある。 ②視覚障害者団体に理解を求めながら慎重に検討する必要がある。また、同行援護の十分な提供体制の有無についても勘案する必要がある。 ③通勤のように通年かつ長期にわたる外出の送迎については予算への影響及び提供体制の有無を勘案しながら慎重に検討する必要がある。																						